

成長を実感できる職場を探すすべての方へ・・・

Seize your GOAL!

採用案内





『食』は0歳から100歳、 三世代を繋ぐひとつのツール

調理サービス部 栄養サービス課
管理栄養士 後藤起子

江東園では老人ホームのお年寄りと保育園の子どもたちが一緒に食材の仕込みやおやつ作りをしたり、同じ場所で同じ食事を一緒に食べたりすることが日常になっています。子どもたちは、おじいちゃん・おばあちゃんの前では、嫌いな野菜も頑張って食べて見せます。お年寄りも子どもたちをやさしく見守ります。そんな光景を演出するのが、私たち調理サービス部の職員です。

調理員は、生活されているお年寄りの顔と名前を把握しており、毎日接することで嗜好や性格もよく知っていますし、悩みや相談も受けれます。栄養士もまた、コミュニケーション、ニーズ把握は当然のこと、フロア訪問をすると多職種からも多くの声が掛かり、分け隔てなくさまざまな職員と関わることができ、「栄養士」として必要とされていると実感できます。そして「大家族」だからこそ老人ホームのお年寄りが亡くなられた際には、本当にお別れが辛いです。0歳～100歳がいる江東園だからこそ、命の温かさを感じ、命の尊さを知る。調理サービス部の五箇条の1つ、『相手の立場を思いやる心一』を忘れてはなりません。

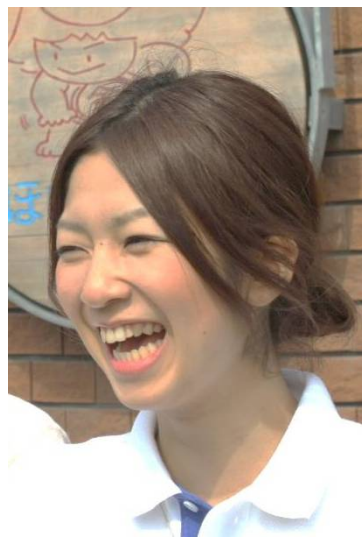
園児と利用者、そして職員の三世代。『食』で笑顔が溢れ、よりアットホームな雰囲気づくりをこれからも目指していきます。

私が保育士になろうと思ったのは、「子どもが好き」という単純なものでしたので、学生のうちは、自分がどんな保育士になりたいのか悩むことが多くありました。

そんな時、江戸川保育園で運動会のボランティアに参加する機会がありました。その時、目にした組立体操。自信に満ちあふれた目や少し怯えたような目で必死に一つの大きなピラミッドをつくりあげていました。完成した時、子どもたち一人ひとりの目がキラキラしていて、私は知らないうちに涙を流し、その瞬間、「ここで保育をしたい」と強く思いました。

入社してすぐに、いけないことにはしっかり向き合う保育と、楽しむときには保育士も一緒に精一杯楽しむという江戸川保育園のメリハリのある保育にさらに惹かれていきました。しかし、思うように保育が出来ず、泣くこともありました。そんな時、同期はもちろん、先輩方の温かい指導や子どもとの関わりのおかげで保育士という仕事にやりがいを感じる事ができ、子どもと正面から向き合うことが出来るようになりました。

そして、なんとといっても、江戸川保育園に欠かせないのがおじいちゃん・おばあちゃん存在です。江戸川保育園の朝は、おじいちゃん・おばあちゃんの元気な「おはよう！」から始まります。朝の体操はもちろん、たくさんの行事にはいつもおじいちゃん・おばあちゃんの温かい応援があります。挫けそうになった時、子どもたちだけではなく、私たち職員にも「頑張れ」と優しく声を掛けてくれるおじいちゃん・おばあちゃん。何度も助けていただきました。みんなが寄り添いながら生きている。私も大家族の一員です。



“寄り添いながら生きている”
それが江東園。

保育サービス部 保育サービス課
保育士 小田垣 早苗

Career Planning

キャリアプランニング

「なりたい自分」をめざすことができる仕組み(江東園キャリアパス)があります。



地域サービス部(地域包括支援センター)
部長 佐藤 愛子

私らしく
キャリアデザインできる場所です。

私が就職活動をしていた時に江東園に決めたのは、新たな事業展開を予定していることを知ったからです。もともと学生の頃からキャリアアップ志向でしたので、できるだけ大きなフィールドで活躍したいと思っていました。

入社当初は特別養護老人ホームでケアワーカーとして勤務。その後すぐにケアセンターつばき開設準備室の話があり、「絶対チャレンジしたい!」と思い、上司に相談。上司も推薦してくれました。今思うと、よく入社半年の私を推薦してくれたな・・と思います。前向きな人にはチャンスを与える江東園の職場風土があったからだと思います。

ケアセンターつばきでは法人初の障害者施設で何もないうところから全てをつくりあげました。今の私にとってはかけがえのない経験でした。

その後、介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士の資格を取得。資格取得のキャリアアップのたびに課長補佐、課長、相談員という立場でお仕事をさせていただきました。現在では、地域包括支援センターの相談員としてご本人やご家族、行政などに関わりながら、お仕事をさせていただいています。

江東園は私らしくキャリアデザインができる場所です。

We want YOU!

求める人財像

江東園が求めるのは、江東園がパイオニアとして取り組む「世代間交流」に共感できる方。そして、問題・課題にぶつかった時に「その答えは自分の中にある」と考えられる主体性のある方です。入社後はさらにご自身を高めていただけるような取り組みがあります。

世代間交流

江東園ブランドである「世代間交流」にこだわり、その可能性をさらに広め、少子高齢化の進むわが国の取り組みとして世界に発信します。

コミュニケーション

職員互助会等により、スタッフ相互のコミュニケーションを促進。そこからご利用される方の幸せにつながります。

地域包括ケア

地域における新たな社会福祉法人の役割、「地域包括ケア」を実現するため、視野は施設から地域へ。そして世界へ。

生産性

成果物÷時間で導き出される生産性を重視し、個人個人がタイムマネジメントを行い、スマートな仕事を目指しています。

「共感」 「主体性」

自己研鑽

他の業種や団体の方と積極的に関わることで、知識を深め、自らの「気づき力」を高めます。

互助会

研修旅行の他、ボウリング大会などのレクリエーション、フットサル・太鼓・ソフトボールなどの同好会活動を行っています。また福利厚生として、「福利厚生倶楽部」を利用しています。



WLB

ワーク・ライフ・バランスを推進。時代にそった新たな働き方を実践するため、定時退社デーを設ける他、生産性の高い仕事のための研修などを行っています。



海外研修

第一線で活躍する人財を育成するため、海外研修などを積極的に行っています。海外の文化や人々に触れ、先駆的な事例を学ぶことで次世代のリーダーを育成しています。



江戸川みまもり隊

地域包括ケアの実現に向け、独自事業として、シニアボランティアで結成された「江戸川みまもり隊」をサポート。社会福祉法人としての役割を実践しています。



交流

世代間交流のパイオニアとして、「ここにしかないもの」を大切に、少子高齢化の進むわが国の新しい福祉社会のかたちを発信しています。



【採用担当】 社会福祉法人 江東園 TQM本部 サービス管理室 井上・小沢

TEL 03(3677)4611

FAX 03(3677)4655

<http://www.kotoen.or.jp/>

※日々の様子を「江東園ブログ」では是非ご覧下さい。 <http://ameblo.jp/kotoen-blog/>